

JIS

高速度工具鋼ドリル－技術仕様

JIS B 4313 : 2008

(JSCTA/JSA)

平成 20 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	相 羽 繁 生	社団法人日本ばね工業会
	石 丸 尋 士	社団法人自動車技術会
	大 山 忠 一	社団法人日本バルブ工業会
	桑 田 浩 志	財団法人日本規格協会
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	手 塚 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 勝 良	社団法人日本ベアリング工業会
	飛弾野 文 英	日本工具工業会
	丸 山 一 男	東京工業大学名誉教授
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.7.20 改正：平成 20.3.20

官 報 公 示：平成 20.3.21

原 案 作 成 者：日本工具工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-6891)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 等級	2
5 ドリルのねじれ方向	3
6 寸法	3
6.1 ドリルの刃部	3
6.2 ストレートシャンクの径	3
6.3 テーパーシャンクの寸法	3
6.4 ミーリングシャンクの径	3
6.5 振れ公差	3
6.6 長さ	4
6.7 心厚	4
6.8 ウェブの振り分け	5
6.9 マージン幅	6
6.10 リップハイト	7
6.11 チゼルエッジの偏心	7
6.12 ドリルの角度	8
7 材料及び硬さ	8
8 表面粗さ	8
9 測定方法	8
9.1 直径、振れ、チゼルエッジの偏心、リップハイト及びウェブの振り分け	8
9.2 硬さ	8
9.3 表面粗さ	8
10 検査	9
11 表示	9
11.1 製品の表示	9
11.2 包装の表示	9
附属書 JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	12
解 説	16

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本工具工業会 (JSCTA) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS B 4313:2002** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

高速度工具鋼ドリル—技術仕様

High-speed steel two-flute twist drills—Technical specifications

序文

この規格は、1996年に第1版として発行されたISO 10899を基に作成した日本工業規格であるが、市場からの要望のあった精級を追加し、国内の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、ストレートシャンク、モールステーパシャンク又はミーリングシャンクをもつ高速度工具鋼ドリル（以下、ドリルという。）に対する技術仕様について規定する。この規格は、転造以外の製造方法に適用する。ただし、受渡当事者間の協定によって特殊ドリルに準用してもよい。

この規格は、次の規格に適用する。

なお、この規格と個別規格とで形状・寸法の規定が重複する場合は、個別規格を優先する。

JIS B 4301 ストレートシャンクドリル

JIS B 4302 モールステーパシャンクドリル

JIS B 4305 ストレートシャンクロングドリル

JIS B 4306 モールステーパシャンクロングドリル

JIS B 4307 ストレートシャンクスタブドリル

JIS B 4314 ミーリングシャンクドリル—形状・寸法

注記 1 この規格は高速度工具鋼ドリルの技術仕様について規定するものであるが、この規格単独では適合性評価を行うことは、意図していない。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 10899:1996, High-speed steel two-flute twist drills—Technical specifications (MOD)

なお、対応の程度を表す記号(MOD)は、ISO/IEC Guide 21に基づき、修正していることを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0171 ドリル用語

注記 対応国際規格：ISO 5419:1982, Twist drills—Terms, definitions and types (MOD)